

2008/02/06

1月27日（日） 午後2時00分から霞ヶ関ビル33階 東海大学
校友会館に於いて首都大学東京同窓会 講演会・総会・新年会が
開催されました。この模様はアルバムに掲載いたしました。今年の
日程は“平日は職務でお忙しい現役の方々、夜のパーティに出るの
は“チョッと疲れる”と感じられる大先輩の方々のお集まりを期待し
て、“日曜日の午後の時間”に企画いたしました。また今回は急遽(5
日前に)在学生の皆さんを会員との親睦を図てもらおうと招待しま
した。試験週間の前日の日曜日にもかかわらず、12名の現役学生
が参加してくれました。



総会 午後2時～

始めに、田中 努会長から挨拶があり、同窓会活動報告及び活
動計画についての説明が行われました。

活動報告では19年度後期に同窓会が寄付講義を提供し好評で
あったことが報告されました。

次に12月6日に開催された評議員会の承認事項として、1.第
3期(平成18年10月1日～平成19年9月30日)決算、2.第4期
(平成19年10月1日～平成20年9月30日)予算の二つの議題が
大塚評議員議長から説明されました。いずれも拍手多数で可
決されました。決算・予算の詳細はTMU会報3号（11月20日発行）をご参照ください

決されました。決算・予算の詳細はTMU会報3号（11月20日発行）をご参照ください

東京同窓会 第4回総会・講演会



講演会 午後2時50分～

第2回目となった講演会は、「地球温暖化について」のテー
マで首都大学東京学長 西澤 潤一先生にご講演いただきました。会場は、100名以上の会員であふれ、学生も立ったま
まで、熱心に聴講しました。内容は、「地球温暖化が深刻な
状況で、温室効果ガスの削減は、世界で解決すべき共通の課
題であり、各国それぞれ取り組みしている。エジソン以来電
気の送電は、そう変わっていないが、直流送電にすれば1万
キロもロスがほとんどなく送電でき、大変に省エネになる。

交直変換も簡単に出来る技術が生まれ、変電所その他の設備も今の十分の一とコンパクトになり、新たな産業が
生まれる。そして、原料がただの水力発電を見直せば、そう原子力にシフトしなくても良いのではないかと
の提案でした。